

高崎市(群馬県)の一体的実施

平成25年8月1日事業開始

市役所庁舎内に「たかさき就労支援コーナー」を開設し、市とハローワークによる生活保護受給者、住宅手当受給者等の生活困窮者に対する一体的支援を実施

市

福祉サービス、相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅手当受給者等の生活困窮者に対する支援

② 協定・事業計画

- ・高崎市長と群馬労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を高崎市と群馬労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

③ 運営協議会

- ・高崎市職員、群馬労働局職員、ハローワーク高崎職員をメンバーとする運営協議会を設置
(会長は、年度ごとに高崎市職員、労働局職員から選出)

福祉担当課内に「たかさき就労支援コーナー」を設置。身近な市役所で福祉から就労までの支援を実現。

(1) 実施体制

市

・社会福祉課 生活保護	就労支援員	3名
	査察指導員	4名
住宅手当	住宅確保・就労支援員	1名

国

- ・職業相談員2名(就職支援ナビゲーター)を配置
 - ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置*
- * H26年1月導入予定

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標(H25.8~H26.3)	取組状況(平成25年10月末時点)																					
生活保護受給者等の就労支援	生活保護受給者等生活困窮者に対して 市と国でチーム支援	<窓口取扱状況>																					
	<ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者目標数：<u>133人以上</u> ・就職者目標数：<u>60人以上</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規求職者 <table border="0"> <tr><td>8月:61人</td><td>・相談件数</td></tr> <tr><td>9月:18人</td><td>8月:160件</td></tr> <tr><td>10月:17人</td><td>9月:186件</td></tr> <tr><td>累計:96人</td><td>10月:179件</td></tr> <tr><td></td><td>累計:525件</td></tr> </table> ・チーム支援対象者 <table border="0"> <tr><td>8月:17人</td><td></td></tr> <tr><td>9月:13人</td><td></td></tr> <tr><td>10月:13人</td><td>累計:43人</td></tr> </table> ・チーム支援就職者 <table border="0"> <tr><td>8月:2人</td><td></td></tr> <tr><td>9月:12人</td><td></td></tr> <tr><td>10月:8人</td><td>累計:22人</td></tr> </table> 	8月:61人	・相談件数	9月:18人	8月:160件	10月:17人	9月:186件	累計:96人	10月:179件		累計:525件	8月:17人		9月:13人		10月:13人	累計:43人	8月:2人		9月:12人		10月:8人
8月:61人	・相談件数																						
9月:18人	8月:160件																						
10月:17人	9月:186件																						
累計:96人	10月:179件																						
	累計:525件																						
8月:17人																							
9月:13人																							
10月:13人	累計:43人																						
8月:2人																							
9月:12人																							
10月:8人	累計:22人																						
		<ul style="list-style-type: none"> ・チーム支援対象者に係る就職率 H25.8~10月:51.2% 																					

一体的実施事業による就職成功例

男性：60歳代（ブラジル国籍） 希望職種：解体工
直近の状況：正社員（解体工）

○本人の状況

- ・雇用保険が終了し家賃が払えなくなり、HWへ相談来所。
- ・住宅支援給付の手続きについて、市役所へ誘導を行う。

① 抱える課題

- ・日本語の読み書きは不可。日常会話は片言で不安があるため、なかなか求人に応募できない。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・市役所の住宅支援窓口から、「たかさき就労支援コーナー」へ誘導される。
- ・市役所・国際交流課のポルトガル語通訳が同行。希望している解体作業の求人を紹介。その後採用されたが、2日程働いた後、「仕事がないので、もう来なくてもいい」と言われ、解雇に。

③ 結果

※支援期間2カ月

- ・その後も通訳を伴って常設窓口へ。
- ・紹介に至る場合もあるが、なかなかうまくいかず、13回の相談を経て、紹介した事業所に面接し**正社員採用**。
- ・職種：**解体工**

○就職支援ナビゲーターの所感

- ・ポルトガル語の通訳を通して、本人の希望や現在の様子を詳しく聞くことができ、根気強くコーナーを利用する中で、適切な職業紹介や相談業務が行えた。

○本人のコメント

- ・不運もあったが、現在はやりがいのある希望した仕事に就くことができ、頑張っている。

男性：57歳 希望職種：営業（新規開拓）

○本人の状況

- ・4年前までタクシーの運転手をしていたが、病気により退職を余儀なくされ、生活保護受給者となった。

① 抱える課題

- ・年齢がネックとなり、何度応募しても不採用になる状況が続いていた。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・営業職での経験が長かったことから、その経験を活かす視点から支援。何度か不採用が続いたが諦めず、本人の経歴に見合うと思われる求人を提案した。
- ・採用が決まってからも、スーツや通勤定期代等の出費が必要のため、社会福祉協議会の総合支援資金貸付を受けようことを勧める。

③ 結果

※支援期間2カ月

- ・提案紹介した求人事業所へ**正社員採用**。
- ・職種：営業

○就職支援ナビゲーターの所感

- ・年齢や4年間のブランク等、ハードルは決して低くはなかったが、経歴をみると営業ないし管理業務での正社員採用は不可能ではないと思われた。なかなか思うように就職活動が進まず、本人もかなり悩んでいたが、諦めずに粘り強く活動するよう励まし、正社員採用を勝ち取ることができた。

○本人のコメント

- ・一日も早く生活保護から抜け、税金を納められるようになることが目標。